

R6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 太陽福祉会	代表者	鹿野 勇	法人・ 事業所 の特徴	法人内で各委員会の取り組み、研修会を実施しており、また法人全体で事業所の運営、行事の開催をバックアップしています。事業所の理念を「笑い・楽しみ・役割」とし、ご利用が安心して過ごせるよう日常の家事を職員と一緒にを行い、必要に応じて自宅へ訪問して安心して自宅で生活できるよう支援しています。事業所を田村地区、関集落の行事が開催できる場所として提供し、地域の方々との交流に努めています。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護施設 田村ゆうゆうの里	管理者	才本 和生		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	家族会を再開し、ご家族同士の交流や事業所への声を聞く機会を作る。事業所でのご利用者の様子や取り組みを伝える。	R6年12月に家族会を開催。ご家族同士の交流や事業所でのご利用者の様子をお伝えすることができて、ご家族よりとても良かったと評価をいただく。	家族会の開催で、通常では交流の無い家族同士の意見交換や事業所の取り組みをより分かりやすく知ることができたと思う。	家族会の開催を年2回行い、ご家族の交流や事業所へのご意見を伺う機会を増やす。いただいたご意見を施設運営や日々の支援に繋げ、事業所の取り組みやご利用者への支援について発信する。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の畑や庭へ出る機会を積極的に作り、ご利用者や職員の様子が地域の方からも垣間見える活動を行う。	ご利用者と一緒に苗植えや黒豆の収穫作業・さや剥きを行った。収穫した黒豆を使って皆さまに黒豆ごはんを提供する。	職員さんと一緒に畑や園芸活動されることは良いと思う。畑もきちんと管理されている。ご利用者本人の意欲を引き出すことはとても大事だと思う。	事業所内園庭での活動（体操や園芸等）を積極的に行い、地域の方に気軽に声をかけていただけるように間口を広げる。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍を経て、地域とのかかわり方を改めて考える。地域へ出向く、地域の方を迎える活動を試みる。	今年度も地域の防災訓練には参加できていない。事業所では9月と3月に消防訓練を実施した。	地域の防災訓練もあまりできておらず、一緒にできる状況になっていない。回数より内容を重視して出来る範囲で計画を立てて行動されては。	介護教室等を行い、事業所が「認知症あんしんサポート窓口」であることを知っていただけるような活動を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者の「望み」や「願い」、これまで大切にされてきたことの継続ができるよう、事業所として柔軟なサービスを提供する。	ドライブと併せて地域のカフェに出かけたり、事業所内の畑で収穫も行う。独居の方の希望を伺いに買物支援も行う。	色々な工夫をされ、事業所として柔軟なサービスを提供されていると思う。引き続き地域との関わりを深めていただきたいと思います。	ご利用者が在宅での暮らしを継続し自己実現できるよう、事業所の強みである「通い」「泊り」「訪問」を軸にして、買い物支援等の柔軟なサービスを提供する。

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>民生委員の方から地域の心配な方等の情報提供を依頼し、会議の場で共有する。</p>	<p>関区区長・文化厚生副部長をはじめ、田村地区の民生委員（3名）に順番に会議に出席していただき、地域の心配な方の情報共有や事業所の情報発信を行う。</p>	<p>地域のことがら、各分野の情報提供まで会議の場でしっかりと共有されていると思う。</p>	<p>区長・民生委員の方から地域の取り組み・心配な方の情報提供や事業所からの情報発信の場を設け、事例検討・地域での取り組みを一緒に行い改善に繋げる。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>運営推進会議にて事業所の防災計画について伝える機会を作る。</p>	<p>BCP を策定して机上訓練を行ったが、まだまだ手探りの事が多いことを伝える。</p>	<p>事業所の防災訓練は、事業所からの参加の案内などが無いため、よくわかりません。災害の状況にもよると思うので、事業所が頼りになるかどうかは何とも言えない。</p>	<p>事業所の防災訓練（消防避難訓練）に参加いただけるよう、運営推進会議を通じて発信し参加をお願いします。</p>

